

令和7年度

地域とともにある学校づくり

谷戸第二小学校 4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「西東京市をくらしやすい町に」
(活動名)

ねらい：

- ・地域で困りごとを抱えている人を見付ける。
- ・「福祉」という言葉の意味を理解する。
- ・様々な生活上の困難を調べ、調べたい対象をクラスで選ぶ。



【5月】

4年生は、学習の始めに『西東京市で困っている人はどんな人か』を出し合いました。その中からクラスごとに調べたいことを抽出しました。

【6月】

元パラアイスホッケーのオリンピック、『高橋和廣さん』をお招きして、車いすでの生活についてお話を聞かせていただきました。



普段の生活でできることや、どのような場面で困るのかについて質問をさせていただきました。また、自分達にできることも教えていただき、「困っている人がいたら声をかけたい」と感想を伝えていました。



【7月】

さくらの園の方をお招きして、いろいろな障害についてお話を聞かせていただきました。車いす体験や、視覚障害の方の体験を通して、自分達が当たり前に行っていることは、障害者の方にとっては大変なことなのだ気付きました。

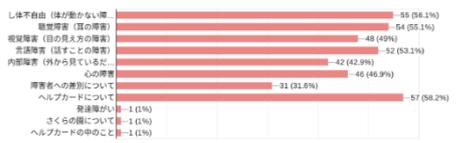
さくらの園の学習後アンケート

7月15日(水)の総合の学習で、もっと知りたいと思ったこと、体験をしてみたいと思ったことをアンケートに書きました。

0776@giga.nishitokyo.ed.jp アカウントを切り替え

CS 共有なし

話を聞いて、興味をもった、もっと知りたいと思ったものにチェックしましょう。(いくつでもOK) 期待の回答



【7月】

さくらの園での授業後に、これからさらに学びたいこと、体験したことについてアンケートを実施しました。今回体験できなかった『聴覚障害』や、お話の中に出てきた『ヘルプカード』について興味をもつ児童が多く、今後の探究課題として計画をしていきます。

まとめ

『西東京市で困っている人はどんな人』というテーマから学習が始まり、自分達の住む地域には、障害など様々な理由で困っている人がいるということに気付きました。話を聞いたり、体験をしたりしたことを通して、「もっと知りたい」「こんな体験もしてみたい」と子ども達の意欲も高まっています。

2学期はこれまでの学習や体験したことをどのように発信していくのか、そのために必要な情報をどのように集めるのかを話し合いながら進めていきます。